

学校教育目標 他者とかかわり合いながら自尊感情を高め、主体的に学ぶ児童の育成

-目指す児童像-

賢：かしこく →自ら問いを発し、対話を行いながら考えを深める子ども
 優：やさしく →他者の心を想像しながら、共に協力し合い活動できる子ども
 健：すこやかに→よく遊び、すすんで心身をきたえ、自他の命を大切にしている子ども

心 うきうき
やさしい子

特別支援教育を本校教育の
強みに(推進力に)

体 すくすく
げんきな子

<他者の心を想像する力>
 【重点的取組】

- ①あいさつ指導の徹底
- ②道徳の授業の充実とグループアプローチの取組
- ③子どもが元気になる言葉かけ
 - ・4つの「あ」の取組※
 - ・学年・学級での交流活動
 - ・支援学級児童との交流

目標値 (自己評価達成率)
 ・気持ちをこめてあいさつをする (80%以上)

<育成したい資質・能力>

- ・自ら問いを発する力
- ・他者の心を想像する力
- ・自他の命を大切にしている力

<自他の命を大切にしている力>
 【重点的取組】

- ①安全に生活するための判断力・行動力の育成と習慣化
- ②体力づくり活動の充実
- ③ネットやメディアとの健全な向き合い方の指導
 - ・早寝・早起き・朝ご飯の啓発
 - ・児童に寄り添った教育相談と積極的な生徒指導

目標値 (自己評価達成率)
 ・廊下を静かに歩く (80%以上)

学び わくわく
かしこい子

- 「あそび」の信頼関係
- 人権教育
 - ・多様性を受け入れる人権感覚の醸成
 - 生徒指導
 - ・児童の心理を理解し、児童に寄り添った積極的生徒指導
 - ・いじめのサインを見逃さず早めの対応
 - 不登校対策
 - ・情報の共有化と組織的な対応
 - 就学前教育
 - ・計画的な交流活動
 - 環境教育
 - ・そうじの徹底と栽培活動の充実
 - 図書館教育
 - ・読書習慣の形成
 - 健康教育
 - ・体育や外遊びの充実と安全指導の徹底
 - 食育
 - ・朝ご飯の推奨とアレルギー対応の徹底

<自ら問いを発する力>
 【重点的取組】

- ①単元のゴールの共有化と導入の工夫
- ②子どもの問いを引き出す授業づくり
- ③個に応じた指導のための時間確保

- ・授業とリンクした家庭学習の実践
- ・ICT 機器の活用
- ・学習規律のある授業 (聞く態度の育成)
- ・読書習慣の形成

目標値 (自己評価達成率)
 ・先生や友達の言葉をしっかりと聞く (80%以上)

- 「ルール」を守りながら学ぶ・安全
- 道徳教育
 - ・考え議論する道徳の実践
 - 特別活動
 - ・折り合いをつける話し合い活動の充実
 - キャリア教育・生涯学習
 - ・キャリアパスポートの活用
 - ・人や自然と触れ合う体験活動の充実
 - 情報教育
 - ・SNS等適切な使い方の指導
 - 特別支援教育
 - ・一人一人のニーズに応える支援の充実(合理的配慮)
 - ・保護者や専門機関との連携の充実
 - 外国語活動・外国語科
 - ・聞く、話す活動の充実 (ALTとの連携)
 - 校内研修
 - ・自ら問いを発し、ともに高め合う授業づくり

職員の心構え…チームで動く (チーム花園)、一人で抱え込まない、互いに報・連・相
 PTA・保護者・関係機関との連携…保護者サポートの充実とSSWやSC等の積極的活用
 開かれた学校づくり…コミュニティ・スクールの推進、各種便りや学校HPでの情報発信・啓発
 働き方改革…教育活動を厳選し、毎月の超過勤務40時間以内をめざす (衛生委員会の毎月開催)
 不祥事防止…県民の付託に応えるため、不祥事を起こさない風通しの良い職場づくりに努める

※4つの「あ」しあわせ生活目標…「あいさつ」「あんぜん」「あせ」「あしまつ」